

森林・山村資源利用交付金[新規]

【2,735(一)百万円】

対策のポイント

森林の有する多面的機能を発揮させるため、地域の活動組織が実施する里山林など森林の保全管理や山村活性化のための活動に支援します。

<背景/課題>

- ・森林・林業を支える山村において、過疎化等の進行に伴い、地域住民と森林との関わりが希薄化しつつあり、森林の有する多面的機能の発揮が難しくなっています。
- ・森林の多面的機能を持続的に維持発揮させていくためには、山村地域の住民が協力して里山林等の保全管理や森林資源の利活用を実施していく体制を整え、山村において地域コミュニティの形成を図り、「日本再生戦略」に掲げられている地域力の向上を実現することが不可欠です。

政策目標

○里山林の資源を活用した活動に継続的に取り組む団体を5年後までに5割増加(741団体(24年度)→1,112団体(29年度))

<主な内容>

森林・山村資源利用交付金

2,735(一)百万円

森林所有者と、地域住民、NPO、民間団体等との合意により設置する民間協働組織(活動組織)による里山林等の森林の保全管理や、広葉樹未利用材の利活用活動、森林環境教育等山村の活性化に資する以下の取組に対し、一定の費用を国が支援します。

ア. 多面的機能保全活動

(ア) 地域環境保全タイプ

- ・ 集落周辺の里山林を維持するための景観保全・整備活動や生物多様性保全に向けた取組
- ・ 侵入竹の伐採・除去活動や利用に向けた取組
- ・ 集落周辺での鳥獣被害の防止活動

(イ) 災害未然防止タイプ

- ・ 風倒木や枯損木の除去、集積、処理
- ・ 集落周辺の簡易な土留め柵の設置
- ・ 山火事被害低減のための簡易防火帯の作設や維持管理

イ. 森林資源利用活動

(ア) 森林資源利用タイプ

- ・ 里山林の広葉樹等未利用資源を収集し、木質バイオマス、炭焼き、しいたけ原木等として利用する活動や伝統工芸品の原料として活用

(イ) 森林空間利用タイプ

- ・ 地域の森林における森林環境教育や森林レクリエーション活動の実践

森林・山村資源利用交付金
補助率：定額(300万円を上限)
事業実施主体：地域協議会

[お問い合わせ先：林野庁計画課(03-3502-0048(直))]

森林・山村資源利用交付金（新規）

背景

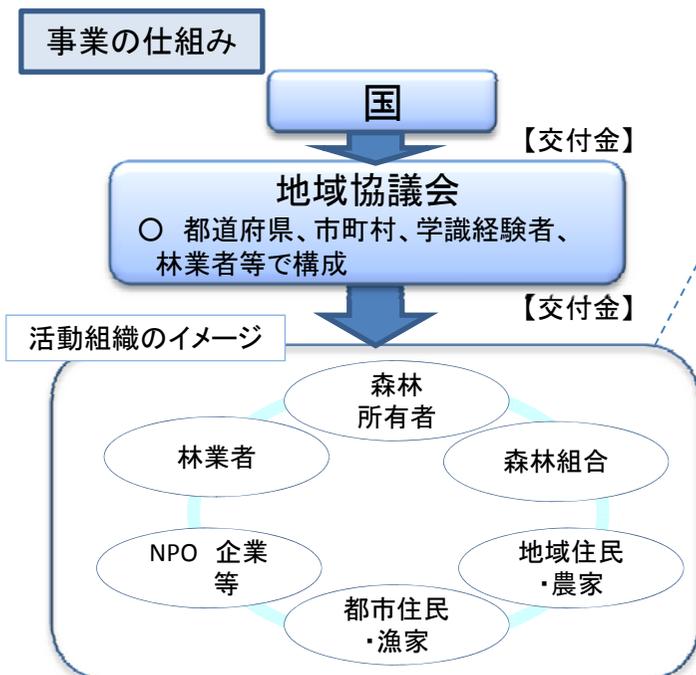
森林・林業を支える山村において、過疎化・高齢化の進行に伴い、地域住民と森林との関わりが希薄化しつつあり、水源のかん養、山地災害の防止、生活環境の保全、生物多様性の保全等森林の有する多面的機能の発揮が難しくなっている。

このため、森林所有者とNPO等が協力して地域の森林の保全管理や森林資源の利活用を進めることにより森林の多面的機能の維持増進を図るとともに、森林資源の再生可能エネルギーとしての活用を推進し、山村における地域コミュニティの形成を図るための総合対策を講じる。

事業内容

○地域において、森林所有者、地域住民、NPO法人、関係団体など地域で合意した民間協働組織（活動組織）が実施する森林の保全管理や山村地域の活性化に資する取組に対し、一定の費用を国が支援。

事業の仕組み



支援の対象例



山村が再生、森林の有する多面的機能が発揮され、広く国民が享受